

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名: リークチェック (エアゾール)
 会社名: 株式会社タセト
 所在地: 〒251-0014 神奈川県藤沢市宮前100-1
 緊急連絡先: 化学品部
 電話番号: 0466-29-5638
 FAX番号: 0466-29-5630
 推奨用途及び使用上の制限: 発泡漏れ検査剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	エアゾール	区分3
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分外
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(腎臓、肝臓)
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	区分外
	水生環境有害性(急性)	区分外
	オゾン層への有害性	区分外

*記載のない物理化学的危険性、健康に対する有害性及び環境に対する有害性は、分類対象外又はデータが無く分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 長期又は反復ばく露による臓器(腎臓、肝臓)の障害

注意書き: 【安全対策】 保護眼鏡、保護面、保護マスク、保護手袋を着用すること。
 換気のよい場所で使用すること。
 ミストを吸入しないこと。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。

【応急処置】 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。

【保管】 容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管すること。

【廃棄】 環境への放出を避けること。内容物、容器を国または都道府県の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

含有成分:

成分名	含有量(%)	CAS No.	PRTR法 ¹⁾
精製水	89~95	7732-18-5	非該当
グリコール類	2~5	非公開	非該当
非イオン性界面活性剤	<1	非公開	非該当
その他	<1	非公開	非該当
噴射剤: 炭酸ガス(CO ₂)	1~4	124-38-9	非該当

危険有害成分

I)化学物質排出把握管理促進法	非該当
II)労働安全衛生法 第57条2 毒物劇物取締法	通知対象物質：なし 対象物ではない

4. 応急措置

目に入った場合：	こすらずに、すぐ清浄な水で目を洗い、医師の手当てを受ける。 もし、コンタクトレンズを使用の場合はできるだけ取りのぞいて洗浄を続ける。
皮膚に付着した場合：	水又は石鹼でよく洗い流す。もし皮膚に炎症が生じた時は、必要に応じて医師の診察を受ける。
吸入した場合：	風通しのよい所に移し、新鮮な空気を吸わせる。
飲み込んだ場合：	水で口をすすぎ、すぐにコップ1～2杯水を飲み、医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法：	本品自体は不燃性。火災にさらされた時には、大量の水で消火する。一般的な消火方法でよく、限定しない。 周辺火災の場合は容器を安全な場所に移動する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
消火剤：	水噴霧、水蒸気、霧状塩化液、泡、粉末、炭酸ガス、ハロゲン化物

6. 漏出時の措置

流出したものが河川などに流れこんで環境に影響を与えることのないよう注意する。
少量の場合、漏出液はおがくず、ウエス、砂などに吸収させて処理する。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、バキューム車などで回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着用する。 取り扱った後の手、顔などは十分に洗浄する。 容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、または引きずるなどの粗暴な取扱いをしない。
保管：	屋内貯蔵。40℃以下、換気良好な冷暗所に直射日光や錆の発生しやすいところを避けて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：	設定されていない
許容濃度：	日本産業衛生学会 設定されていない ACGIH 設定されていない
設備対策：	作業場に洗眼器と安全シャワーを設置する。
保護具：	呼吸用保護具は、必要ならば有機ガス用マスクを用いる。 保護眼鏡は、ゴーグル。保護手袋は、ゴム製、またはビニール製手袋 保護衣類は、前掛け。

9. 物理的及び化学的性質

「原液」

外観：	無色透明液体
臭気：	ほぼ無臭
比重：	1.0
沸点：	100℃(水として)
融点(凝固点)：	-5℃
溶解度：	水に易溶
引火点：	なし
発火点：	なし
爆発限界：	なし

「噴射剤」炭酸ガス(CO ₂)	
物理的状態、形状、色など:	液体;無色透明、気体;無色無臭
臭い:	無臭
pH:	3.7 (飽和水/25°C、0.1MPa)
融点・凝固点:	-56.6°C
沸点、初留点及び沸騰範囲:	-78.5°C (昇華点)
引火点:	なし (不燃性)
燃焼又は爆発範囲:	なし (不燃性)
蒸気密度(空気 = 1):	1.977kg/cm ³ (0°C、0.1MPa)
溶解性:	0.878L/水 1L (20°C、0.1MPa)

10. 安全性及び反応性

安定性:	安定である。
自己反応性・爆発性:	自己反応性なし。 40°C以上のばく露を避けること。(本品;エアゾール缶の破裂の危険がある)

11. 有害性情報

急性毒性(経口):	グリコール類: 得られたラットLD ₅₀ 値が全て区分外
急性毒性(経皮):	グリコール類: ウサギのLD ₅₀ 値に基づき区分外とした。
急性毒性(吸入:粉塵・ミスト):	分類できない
皮膚腐食性・刺激性:	区分外
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	区分外
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	グリコール類: マウスを用い交配前からのばく露による2世代生殖試験において、同腹児数の減少に加え、脳ヘルニア、口蓋裂の頭蓋顔面奇形が観察された(DFGOT vol.10 (1998))。口蓋裂はハムスターの妊娠 8 日目の腹腔内投与でも報告されている(DFGOT vol.10 (1998))。これらの影響が現れた用量では同時に母動物の体重減少、ハムスターでは死亡が見られ(DFGOT vol.10 (1998))、即ち、親動物での一般毒性が発現する用量で明確な生殖毒性が記述されていることから区分2とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	グリコール類: ラットの反復経口ばく露による特徴的な所見として、尿酸の排泄増加とともに尿中に尿酸カルシウム結晶が形成され、腎障害(ネフローゼ)が見られたと報告されている(DFGOT vol.10 (1998))。ばく露が長期に及ぶと膀胱結石も観察され、また、腎臓に比べ軽度ながら肝障害の記述も一部にある(PATY (5th, 2001))。しかし、これらの影響はいずれもガイダンス値範囲のカットオフ値(100 mg/kg/day)を超えたかなり高用量における所見である。一方、ヒトでは本物質のばく露に関して複数の疫学調査が実施され、それらの結果によれば、多数の死亡例、進行性の腎障害と最終的に腎不全、一部の報告では肝障害が報告されている(DFGOT vol.10 (1998))。以上、ラットの反復ばく露の所見を考慮に入れ、ヒトの疫学調査の結果に基づき区分1(腎臓、肝臓)とした。
吸引性呼吸器有害性:	エアゾールはミストの状態で噴霧されるので、通常は該当しないため、区分外とした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性):	区分外
水生環境有害性(長期間):	分類できない
オゾン層への有害性:	区分外

13. 廃棄上の注意

[取扱いおよび保管上の注意]に記載する注意点に従う他、法規制に従った処理方法をとる。

残余廃棄物を焼却する場合は、法規制に従って適正に処理する。

残余廃棄物および空容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた業者に本MSDSを提示し、法規制に従った適正な処理を委託する。

14. 輸送上の注意

UN No.(国連番号) : 1950

Proper Shipping Name(品名) : エアゾール (Aerosols)

Class(クラス) : 2. 2

Packing Group(容器等級) : ー

緊急時応急措置指針番号 : 126

[取扱い及び保管上の注意]に記載する注意点に従う他、法規制に従った輸送方法をとる。

輸送前に容器が密閉されているか確認する。

容器の輸送および運搬は、常にしっかり固定した状態でおこない、特に缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰める。

15. 適用法令

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法 : 非該当
(PRTR法)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

水質汚濁防止法により、有機物負荷排水を直接環境へ放出することは規制されている。

下水、河川、海、土壌中に直接廃棄することはできない。

16. その他の情報

参考文献:

- 1) 独立行政法人 製品評価技術機構(NITE) GHS分類結果
- 2) 日本塗料工業会「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック [混合物用(塗料用)]」
- 3) JIS Z 7252::2009「GHSに基づく化学物質等の分類方法」
- 4) JIS Z 7253::2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
- 5) 株式会社タセト 社内資料(原材料MSDS)

記載内容の取扱い

本データシートは、製品の安全性に関する要求事項を記載しています。

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で当社の有する情報を取扱事業者を提供するものです。取扱事業者は、この情報に基づいて、自らの責任において、適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保障するものではなく、本データシートには記載されていないが、当社が知見を有さない危険性及び有害性のある可能性があります。